

牧野英一 まきのいち 刑法學者、歌人、法學博士。明治十一年二月二十日
 岐阜縣高山生れ、昭和四十五年四月十八日歿（八七—一九七〇）。明治二
 十一年東京帝國大學法科大學佛法科卒。歐洲留學を経、大正二年東
 京帝大教授。主觀主義刑法學を提唱して新客觀主義の小野清一郎、瀧
 川幸辰と論争。昭和二十一年貴族院議員、また新憲法實施、民法改正
①のり
 八公職追放の實施に關與。二十五年文化勳章受章。高山中學校時代、峽
 月の名を以て雑誌『少年文庫』に新體詩を投稿。のち竹槍會同人とな
 り歌作。

著書に、歌集『小彙集』（大正二年十一月二十三日旬刊）、『田中大
 秀年譜』（元田脩）二編、大正十二年十月十八日元田一編輯）、『最後
 の一人の生存權』（大正十二年十一月九日人道社）、『海を渡りて野
 をわたる』（昭和二年十一月十八日日本評論社）、『刑法』（昭和
 十四年四月二十一日岩波書店）『岩波全書』（）、『理窟物語』（昭和十
 五年八月二十日日本評論社）、『自由の法律 統制の法律』（昭和十九
 年九月十日岩波書店）、『民法の五十年と刑法の四十年』（昭和二十
 四年五月二十日中央公論社）『國民學術選書』（）、『家族生活の尊重』
 （昭和二十九年八月十日育英閣）、

『人たちの言葉の折々』付著作の
 録』（昭和五十五年五月一日社会教

育協会）等。

